

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。

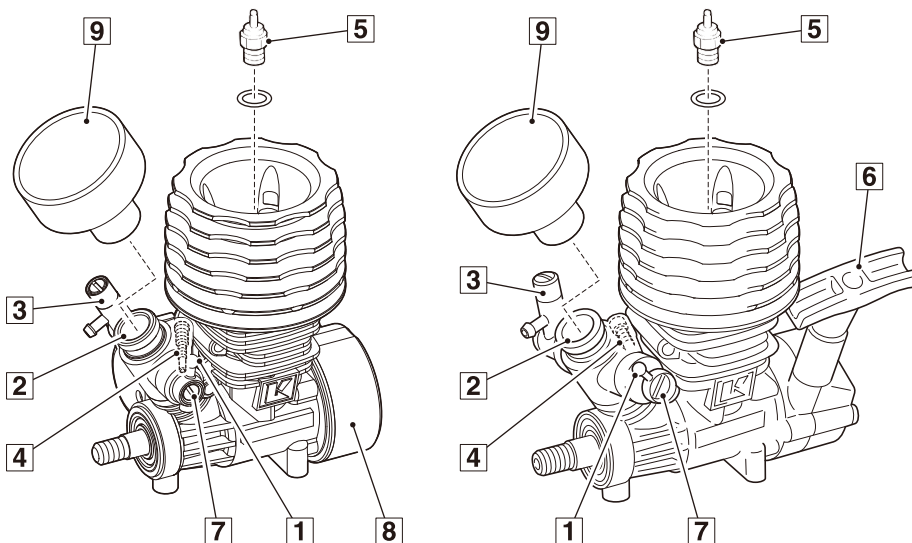
GXR-18 エンジン



取扱説明書
No.74017

●エンジン各部の名称

- 1 スロットルレバー
混合気の量を調整しエンジンの回転数を制御する。
- 2 キャブレター
燃料と空気を混ぜ混合気を作り、その量でエンジンの回転数をコントロールする。
- 3 ニードルバルブ
混合気の燃料の量を調整する。
- 4 スロットルストップスクリュー
アイドリング時のスロットルレバーの開き具合を調整する。
- 5 グロープラグ
圧縮された混合気に点火する。
- 6 リコイルスターター
エンジンを始動させる。
- 7 スロー絞り調整スクリュー
スロー時の混合気・燃料の量を調整する。
- 8 タッチスターター
エンジンを始動させる。
- 9 エアークリーナー



<タッチスターター仕様>

<リコイルスターター仕様>

●エンジン始動するために必要なもの (別売)

1. 模型用燃料

模型専門店にて販売されているグロー燃料を使用してください。
(KANAI FUEL スタンダード 20% No.73111)
(SUPER KANAI FUEL 30% No.73121)



警告

ガソリンや灯油、アルコールなどは、絶対に使用しない。
火災の原因になります。

2. グロープラグ

(No.74904 Gグロープラグ)

▲注意：使用するプラグについて！
ENYA製のプラグは使用できません。

3. ブースターコード (No.74005スターター配線ユニットと

No.74003コネクターユニット) / プラグヒート用電池

(タッチスターター用7.2Vバッテリー)

グロープラグを赤熱させるために使うものです。

() 内はタッチスターター仕様の場合。

4. プラグレンチ

グロープラグの点検、取り替え用に使うものです。

(十字レンチ KYOSHO No.80164)

5. 燃料フィルター

(燃料フィルター KYOSHO No.1876)

上記以外にグロー燃料を給油するために、燃料ポンプがあると便利です。

(クイックフュールポンプ250cc / 500cc

KYOSHO No.96421B / 96422B)

●エンジンの搭載

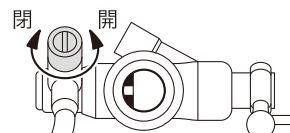
エンジンの搭載方法は、各キットによって位置が異なるため、必ずキットの説明書に従ってエンジン搭載を行ってください。

●エンジンの調整部品標準位置

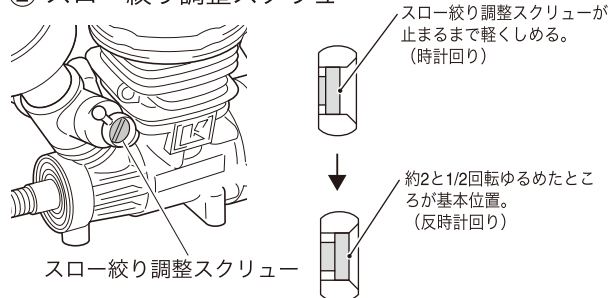
GXR-18エンジンのニードルバルブとスロー絞り調整スクリューを、標準位置で調整してください。

① ニードルバルブ

全閉から2と1/2回転開いた状態。



② スロー絞り調整スクリュー



(①～②は、使用するグロープラグ、グロー燃料の種類によって調整が必要になる場合があります。)



警告

エンジンが熱いうちは、ニードルバルブ以外に直接さわらない。
ヤケドの原因になります。

●エンジン始動とならし運転（ブレークイン）

下記の手順を参考にエンジン始動とならし運転を進めてください。

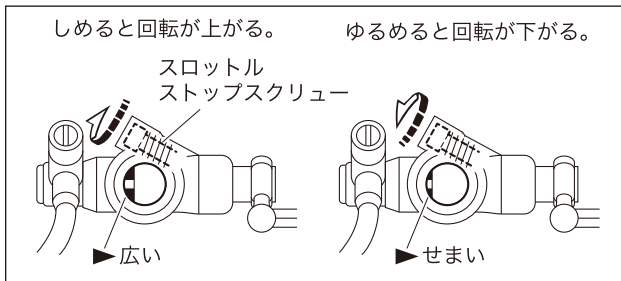
1. ニードルバルブは始動時に、いっぱいまでしめた位置より、3と1/2回転ゆるめた位置にセットしてください。（工場出荷時は2と1/2回転ゆるめた位置に設定されています）
2. 燃料タンクに燃料を入れます。スロットルレバーを全開（ハイ）にし、キャブレターに燃料を2～3滴入れる。その後、スロットルレバーをスローにします。
注意：燃料タンク内にゴミなどがないか、よく確認してから燃料を入れてください。

----- タッチスターター仕様の場合 -----

3. 電動スターター用の7.2Vバッテリーを充電し、満充電になったものを用意します。（寒冷地においては、特に満充電をこころがけてください。）
4. コネクターユニットのコネクターと7.2Vバッテリーのコネクターを接続します。
5. 7.2Vバッテリーでタッチスタートします。1～5秒で始動します。始動しなかったら再度タッチスタートします。
注意：タッチは5秒以内で行ってください。

----- リコイルスターター仕様の場合 -----

3. グロープラグにブースターコード又は、ワンタッチプラグヒートを使って通電（赤熱）させます。
4. リコイルスターターノブを続けて数回（20～30cm位）すばやく連続して引きます。
注意：ロープを50cm以上引かないでください。いっぱいまで引くと、ロープや内部のスプリングが切れてしまうことがあります。
5. エンジンが始動したら5～10秒位待った後、ブースターコード又は、ワンタッチプラグヒートをはずしてください。
6. 次に走行させますが、2～3タンクは全開にしないようにしてください。（ならし走行）
それ以降のならし走行中も、いきなりハイパワーにしないで、ニードルバルブを1/8回転ずつしめていき、エンジンをいたわるつもりでゆっくり走行させてください。
注意：1タンクごとに、必ず自然冷却してください。
7. ならし走行中に、スロットルストップスクリューで、アイドル回転数を調整します。右方向（時計回り）に戻すと、アイドル回転数は高くなります。調整の目安としては、クラッチがつながる回転数と、エンジンがストップしてしまう回転数の中間ぐらいですが、なるべく低いほうがよいでしょう。



8. エンジンのグロープラグ部分の温度を測定してニードルバルブ調整するのが現在最も最適な調整方法です。No.36207サーモメーターMiniが便利です。約120℃を目安にすると良いでしょう。

9. 通常走行位置が決まったら、スロー絞り調整スクリューで、加速時の混合気を調整します。
車をアイドルリング（スロー）で停止させスロットルを高速側に操作します、この時マフラーから白煙を多く出しながら、エンジン回転の上がりかたがたつときは、アイドルリング（スロー）時の燃料が多すぎるので、スロー絞り調整スクリューを右（時計回り）に30°～40°回してください。（混合気がうすくなる）
又、エンジンが止まったり、白煙がほとんど出ないでエンジン回転の上がりかたが遅れるときは、アイドルリング（スロー）時の燃料が少なすぎるので、スロー絞り調整スクリューを左（反時計回り）へ30°～40°回してください。（混合気がこくなる）
スロー絞り調整スクリューは、30°～40°位、少しずつ回します。

※ニードルバルブの最良位置は、使用するグロープラグ及び、グロー燃料の種類によって異なる場合があります。
※ニードルバルブの最良位置は、天候によっても左右される場合があります。

ニードルバルブの最良位置は、全閉より2と1/2回転としそれ以上、しめ込むとエンジンをこわす可能性がありますので注意してください。

注意：エンジンの調整はすべて走行させながら行ってください、タイヤを空転させての空ぶかしは、エンジン破損につながります。

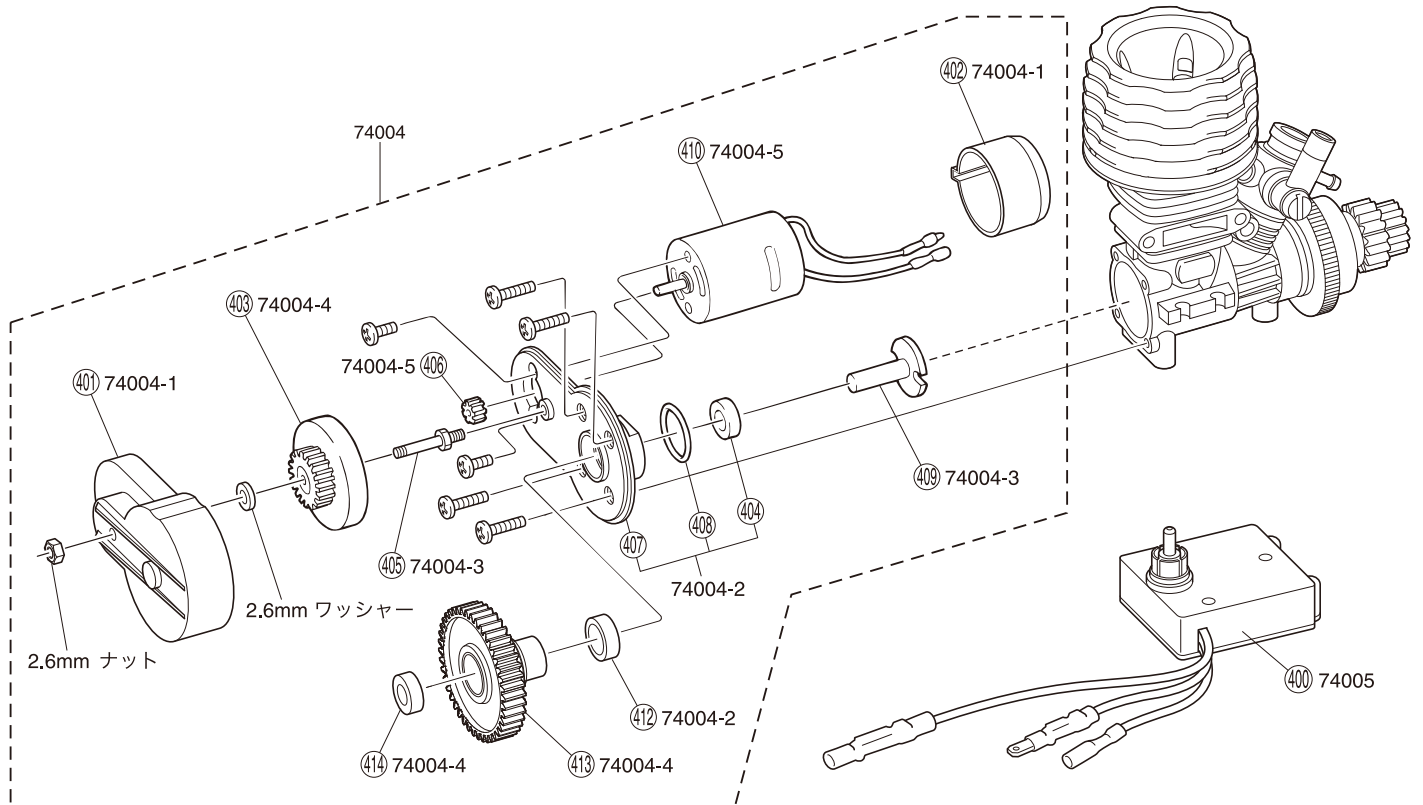
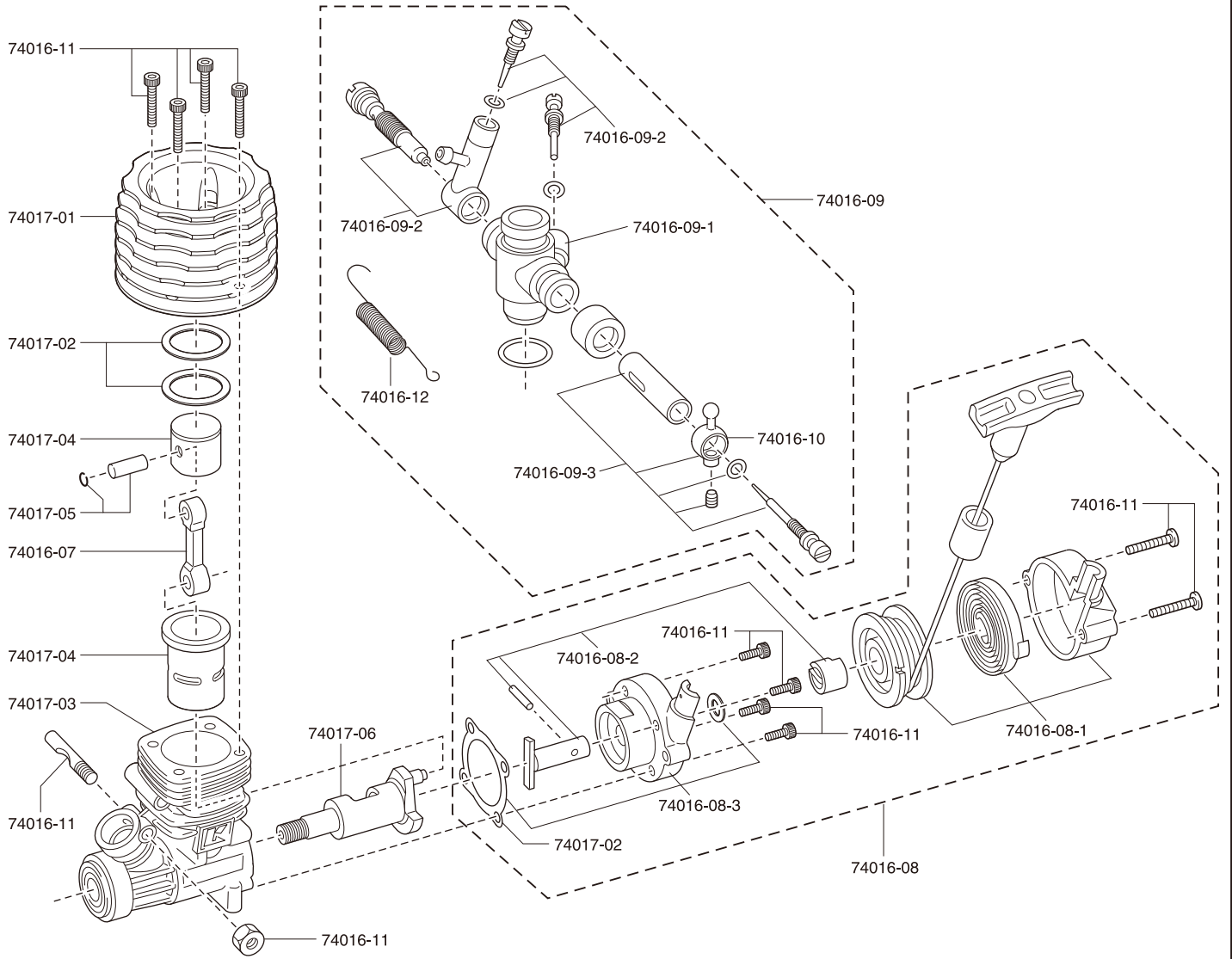
●使用後の手入れ

- * 終了する場合、燃料タンク内に残った燃料は全て抜いてください。
- * エンジン内部も同じように燃料を抜いてください。内部に燃料が残ったまま、長期間そのままにしておくと次回使用する時にエンジンが始動しにくくなりますので注意してください。
- * エンジン外部の汚れは、メタノールを使ってブラシ等で落してください。尚、作業中は火気に十分注意してください。



ガソリンやシンナーなどは、絶対に使用しない。火災の原因になります。

GXR-18エンジン分解図



品番 No.	パーツ名 Part Names	★定価 (税込)	★発送手数料
74017	GXR-18エンジン GXR-18 Engine	15750	210 一律 (税込)
74017-01	シリンダーヘッド (GXR-18) Cylinder Head (GXR-18)	2100	
74017-02	ヘッドガスケット (GXR-18) Head Gasket (GXR-18)	315	
74017-03	クランクケース (GXR-18) Crank Case (GXR-18)	4410	
74016-03-1	フロントベアリング Front Ball Bearing	840	
74016-03-2	リアベアリング Rear Ball Bearing	945	
74017-04	ピストン・シリンダーセット (GXR-18) Piston & Cylinder Set (GXR-18)	2625	
74017-05	ピストンピン (GXR-18) Piston Pin (GXR-18)	420	
74017-06	クランクシャフト (GXR-18) Crankshaft (GXR-18)	1890	
74016-07	コンロッド (GXR-15) Connecting Rod (GXR-15)	945	
74016-08	リコイルスターターアッセンブリー (GXR-15) Recoil Starter Assembly (GXR-15)	2520	
74016-08-1	リコイルスターターユニット (GXR-15) Recoil Starter Unit (GXR-15)	1365	
74016-08-2	スターターシャフト (GXR-15) Starter Shaft (GXR-15)	1260	

品番 No.	パーツ名 Part Names	★定価 (税込)	★発送手数料
74016-08-3	スターターホルダー (GXR-15) Starter Holder (GXR-15)	735	210 一律 (税込)
74016-09	キャブレターアッセンブリー (GXR-15) Carburetor Assembly (GXR-15)	3780	
74016-09-1	キャブレターケース (GXR-15) Carburetor Case (GXR-15)	1365	
74016-09-2	ニードルセット (GXR-15) Needle Set (GXR-15)	1365	
74016-09-3	スライドバルブセット (GXR-15) Slide Valve Set (GXR-15)	1680	
74016-10	ボールジョイント (GXR-15) Ball Joint (GXR-15)	420	
74016-11	ビスセット (GXR-15) Screw Set (GXR-15)	420	
74016-12	スロットルリターンズプリング (GXR-15) Throttle Return Spring (GXR-15)	210	
74904	Gグロープラグ G Glow Plug	683	
92023	エアークリーナー Air Cleaner	420	
92023-1	エアークリーナー スポンジ (3個入) Air Cleaner Sponge (3 pcs)	315	

パーツの定価に消費税が含まれております。また、定価、発送手数料、消費税は平成20年6月1日現在のもので、法規改正、運賃改定、諸事情などともない変更になりますのでご了承ください。

スペアパーツ (タッチスターター)

SPARE PARTS (TOUCH STARTER) ★ FOR JAPANESE MARKET ONLY.

品番 No.	パーツ名 Part Names	内容 (キーNo.と入数) Quantity	★定価 (税込)	★発送手数料
74004	電動タッチスターターユニット Electric Touch Starter Unit	④① ④② ④③ ④④ ④⑤ ④⑥ ④⑦ x 1 ④⑧ ④⑨ ④⑩ ④⑪ ④⑫ ④⑬ ④⑭ x 1 ビスセット Screw Set x 1	3780	210 一律 (税込)
74004-1	カバーセット Cover Set	④① ④② x 1	420	
74004-2	モーターベース Motor Base	④④ ④⑦ ④⑧ ④⑫ x 1 2.6x6mm バインドビス 2.6x6mm Bind Screw x 4	840	
74004-3	シャフトセット Shaft Set	④⑤ ④⑥ x 1 2.6mm ワッシャー/ナット 2.6mm Washer / Nut	525	

品番 No.	パーツ名 Part Names	内容 (キーNo.と入数) Quantity	★定価 (税込)	★発送手数料
74004-4	ギヤセット (クラッチ付) Gear Set (with Clutch)	④③ ④⑬ ④⑭ x 1	1470	210 一律 (税込)
74004-5	スターターモーター Starter Motor	④⑥ ④⑩ x 1 3x6mm ナベビス 3x6mm R/H Screw x 2	1470	
74005	スターター配線ユニット (LED付) Starter Wiring Unit (with LED)	④⑩ x 1 3x20mm バインドビス 3x20mm Bind Screw x 2	1575	
74003	コネクターユニット Connector Unit		945	

キットの部品の一部にはスペアパーツとして販売していない物があります。京商ではオプションパーツを販売していますのでお買い求めください。Some of the parts included are not available as spare parts. Purchase optional parts instead.



注意

ユニット及びスターターモーターは、上記スペアパーツ以外使用しないでください。
(※No.74001B 電動スターターユニット、No.74002 スターター配線ユニットを使用すると、ショートして大変危険です。)

京商ホームページ
www.kyosho.com

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。
© Copyright 2008 KYOSHO CORPORATION / 禁無断転載複製



京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)10:00～18:00

Before beginning assembly, please read these instructions thoroughly.

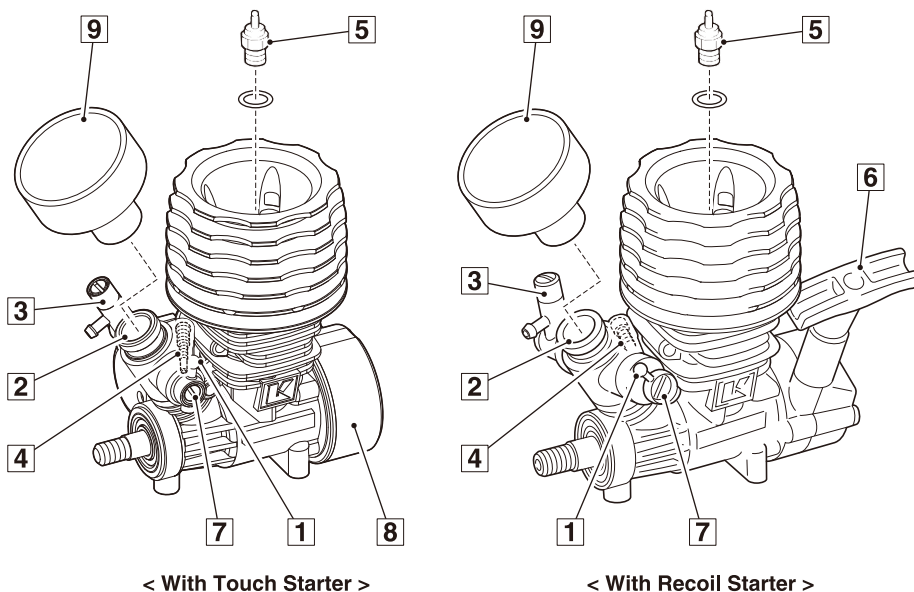
GXR-18 ENGINE



INSTRUCTION MANUAL
No.74017

ENGINE

- 1 Throttle Lever :**
Adjusts amount of air-fuel mixture inflow and controls engine rpm.
- 2 Carburetor :**
Mixes air and fuel appropriately to control engine running.
- 3 High-Speed Needle :**
Adjusts the amount of fuel inflow for the mixture.
- 4 Idle Speed Screw :**
Adjusts the carburetor opening when idling.
- 5 Glow Plug :**
Ignites the compressed air-fuel mixture.
- 6 Recoil Starter :**
Starts the engine.
- 7 Low-Speed Needle :**
Adjusts volume of air and fuel in mixture.
- 8 Touch Starter :**
Starts the engine.
- 9 Air Filter**



●EQUIPMENT NECESSARY FOR STARTING THE ENGINE (NOT INCLUDED)

1. Fuel for R/C models:
Use glow fuel (available in all R/C hobby shops).



Warning

Never use gasoline, kerosene or alcohol instead of glow fuel! This may cause fire!

2. Glow Plug:
(No.74904 G GLOW PLUG)
CAUTION : GLOW PLUG.
Not available with ENYA Glow Plug.
3. Booster Cord (No.74005 Starter Wiring Unit and No.74003 Connector unit) and batteries for the glow plug heater (7.2V battery pack for the Touch Starter): Used for heating and electrifying the Glow Plug.
() refers to the use with the Touch Starter.
4. Plug Wrench:
For removals when examining or exchanging the Glow Plug.
(Wrench from KYOSHO No. 80164)
5. Fuel Filter:
(Fuel Filter from KYOSHO No. 1876)

A fuel bottle comes in very handy for quick and neat refillings of the tank.
(Quick-Fill Fuel Bottle 250cc / 500cc from KYOSHO No. 96421B / 96422B)

●ENGINE MOUNTING

The position for mounting the engine depends largely on the model itself! Follow the instruction manual supplied with the model to mount the engine properly.

●ENGINE STARTING & BREAK-IN

Adjust the High-Speed Needle and Low-Speed Needle to their standard position as follows:

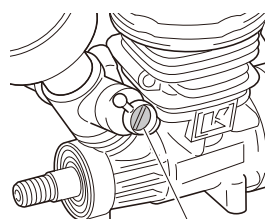
① High-Speed Needle

2 and 1/2 turns unscrewed from closed position.

Tighten Unscrew



② Low-Speed Needle



Gently screw in the Low-Speed Needle screw to closed position (Clockwise).

2 and 1/2 turns unscrewed from closed position (Counter Clockwise).

Low-Speed Needle Screw

Adjustments ①~② may slightly vary according to the type of glow plug and glow fuel.



Warning

As long as the engine is hot, avoid touching anything except the High-Speed Needle! If disregarding this warning, you may cause burn injuries.

●ENGINE STARTING & BREAK-IN

Proceed as follows when starting and breaking the engine in:

1. Make sure the High-Speed Needle is unscrewed 3-1/2 turns from closed position.
Start up settings from the factory is 2-1/2 turns unscrewed from the closed position.
2. Fill fuel into the tank. Move the Throttle Lever to the high position, prime the engine (push the choke button 2 ~ 3 times or put 2 ~ 3 drops of fuel directly into the Carburetor) and move the Throttle Lever back to the slow throttle position.

CAUTION: Carefully check if no dirt or deposits clog the tank!

----- When using the Touch Starter -----

3. Prepare a fully charged 7.2V battery pack for use with the Touch Starter. (A fully charged battery is particularly important in cold weather conditions.)
4. Join the connector unit and the battery.
5. Touch start the engine with the 7.2V battery.
The engine should start in about 1-5 seconds.

Caution: Do not use the Touch Starter for more than 5 seconds.

----- When using the Recoil Starter -----

3. Attach the booster cord or one-touch glow plug heater to the engine in order to electrify the Glow Plug.
4. Quickly pull the recoil starter rope (starter knob) several times. Only pull out 20 - 30cm of cord.

Caution: Be careful not to pull out more than 50cm of cord because you may tear it and the spring inside the Recoil Starter!

5. Once the engine is started, wait 5 ~ 10 seconds before detaching the booster cord or one-touch glow plug heater.

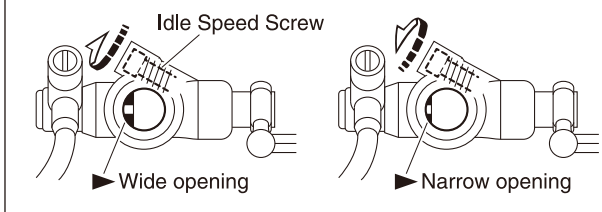
6. Run the engine another 2 ~ 3 tanks and make sure you do not apply full throttle. Also afterwards, do not increase RPM abruptly! Tighten the High-Speed Needle by 1/8 turns and continue to run the engine, handling it gently.

Caution: After each tank, allow the engine to cool off naturally!

7. During the break-in, adjust the idle rpm with the Idle Speed Screw. If rotating it clockwise (right), idle rpm increase. Idle rpm are halfway between rpm when the clutch engages and rpm when the engine stalls. Set idle rpm towards the lower end if possible.

Tighten the Idle Speed Screw adjustment screw to increase rpm.

Unscrew the Idle Speed Screw adjustment screw to decrease rpm.



8. Measuring the temperature of the area around the Glow Plug while adjusting the High-Speed Needle position is regarded as the best way to achieve the Idle Speed Screw setting. No.36207 Thermometer Mini is great for this purpose. Aiming for a temperature of 120°C is recommended.
9. Once the setting for normal operation is done, set the Low-Speed Needle. Stop the car and move the throttle control from the idle position to high position. If fumes exiting the muffler are white and rpm increase slowly, fuel is too abundant during the idle. To lean the mixture, rotate the Low-Speed Needle clockwise (right), each time 30° ~ 40°. In the opposite case, if the engine stalls, fumes are not visible and rpm increase slowly, fuel is not abundant enough. This time, richen the mixture and rotate the needle anticlockwise (left), each time 30° ~ 40°.

Note: The optimum setting may vary according to the kind of glow plug and glow fuel used!

Note: The optimum setting may vary due to changing weather conditions!

The best position of High-Speed Needle must be opened the High-Speed Needle in 2-1/2 turns from the fully closed position. Warning! Closing the High-Speed Needle too much carries the risk of seriously damaging the engine.

Caution: Do these adjustments (from step 8) only while running your car! The engine will be damaged if the wheels are aloof from ground and spinning free.

●MAINTENANCE

- * After running the engine, draw out any leftover fuel from the fuel tank.
- * Draw out fuel from inside the engine as well. Fuel that remains inside the engine, may clog the engine and make it difficult to start.
- * Remove any dirt from the outside of the engine using methanol and a brush. Do not allow fire or any excessive heat source to come into contact with methanol which is highly inflammable! This may cause fires!



Warning

**Never use gasoline or thinner when cleaning!
This may cause fire!**

Vor Inbetriebnahme unbedingt die Bedienungsanleitung lesen!

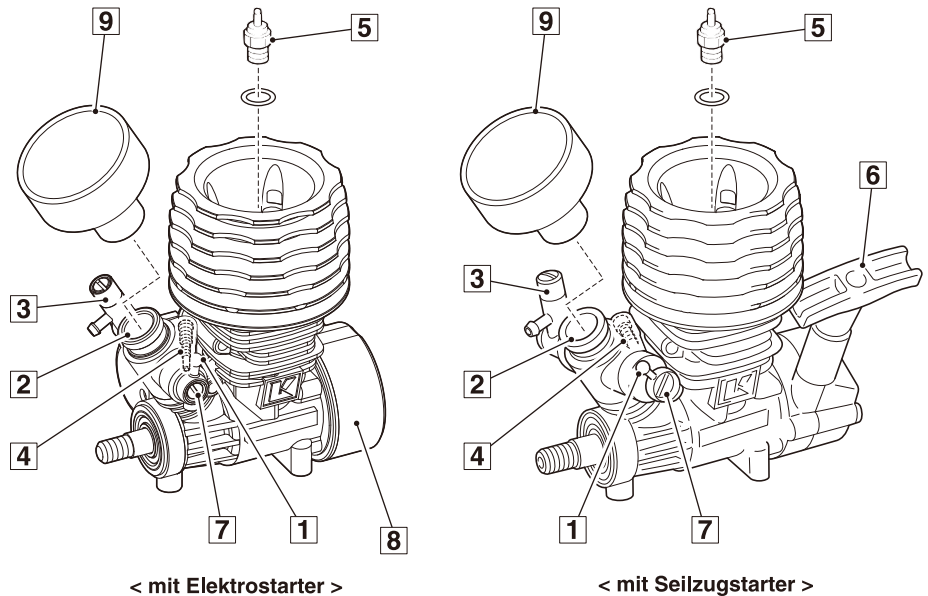
GXR-18 Motors



Bedienungsanleitung
No.74017

Die Bauteile des Motors

- 1 Drosselkükén :**
Steuerung der Motordrehzahl
- 2 Vergaser :**
Erzeugt das Treibstoff- / Luft-Gemisch
- 3 Düsenadel :**
Reguliert das Gemischverhältnis
- 4 Mechanische Leerlauf-Justierung :**
Justiert die Leerlaufdrehzahl
- 5 Glühkerze :**
Zündet das Treibstoff- / Luft-Gemisch
- 6 Seilzugstarter / Elektro-Bordanlasser :**
Zum Starten des Motors
- 7 Leerlauf Düsenadel :**
Reguliert das Leerlaufgemisch
- 8 Elektrostarter :**
Startet den Motor
- 9 Luftfilter**



●Erforderliches Zubehör für den Betrieb des Motors (nicht enthalten)

1. Treibstoff für Modellmotoren
Verwenden Sie Treibstoff mit Synthetiköl und ca. 15 - 25% Nitromethan



Verwenden Sie niemals normales Benzin oder Kerosin von der Tankstelle!

Achtung

2. Glühkerze
(Glühkerze, Best.-Nr.74904)
Vorsicht: Gluehkerze
Nicht verfügbare mit Enya Gluehkerze!
3. Elektrostarter-Einheit
Gluehkerzenstecker oder Elektrostarter und Akkus für den Elektrostarter. Notwendig zum Vorgluehen der Gluehkerze.
4. Glühkerzenschlüssel:
Für die Montage der Glühkerze erforderlich
(Glühkerzenschlüssel, Best.-Nr. 80164)
5. Treibstofffilter:
(Treibstofffilter, Best.-Nr. 1876)

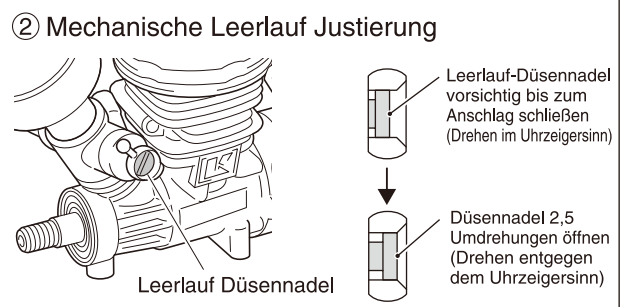
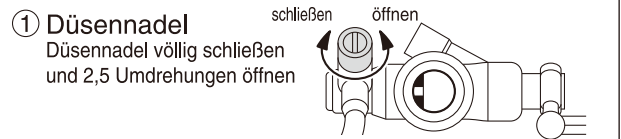
Tankflasche zum Betanken des Modells
Quick-Fill Tankflasche 250ml / 500ml
Best.-Nr. 96421B / 96422B)

●Der Einbau des Motors

Die Einbauposition hängt prinzipiell von dem verwendeten Modell ab. Achten Sie stets auf den festen Sitz aller Schrauben!

●Die Grundeinstellung des Vergasers

Nehmen Sie die Grundeinstellung des Vergasers vor und justieren Sie die Schrauben wie angegeben:



Die oben genannten Einstellungen können später abweichen, da die endgültige Einstellung vom Treibstoff, der Glühkerze und den Wetterbedingungen abhängt.



Achtung

Berühren Sie niemals heiße Teile des Motors, es besteht Verbrennungsgefahr!

●Der Startvorgang

Verfahren Sie exakt in der angegebenen Reihenfolge!

1. Stellen Sie sicher, daß die Grundeinstellung des Vergasers ordnungsgemäß vorgenommen worden ist.
2. Betanken Sie das Modell. Mit dem Sender Vollgas geben, die Tankpumpe solange drücken, bis Sprit am Vergaser ankommt, danach die Tankpumpe noch 2-3 mal drücken - anschließend am Sender wieder auf Leerlauf stellen.

Achtung: Darauf achten, daß kein Schmutz in den Tank gelangt!

----- Beim Benutzen des Elektrostarters -----

3. Aufgeladene 7.2 Akkus für den Gebrauch mit Elektrostarter vorbereiten. (Aufgeladene Akkus sind vor allem bei kalten Wetterbedingungen wichtig.
4. Verbinden Sie den Akku mit der Kontaktbrücke.
5. Der Motor sollte mit einer 7.2v Akku innerhalb von 1-5 sec. starten. Wenn der Motor nicht startet, wiederholen Sie den Startvorgang mit dem Touch Starter.

Achtung: Den Elektrostarter nicht länger als 5 sec. betätigen.

----- Beim Starten mit dem Seilzugstarter -----

3. Schließen Sie den Glühkerzenakku an die Glühkerze an, achten Sie auf guten Kontakt!
4. Ziehen Sie jetzt mit mäßiger Kraft und schnellen Bewegungen den Seilzugstarter.
5. Nach dem Anspringen des Motors kann nach ca. 10 Sekunden der Glühkerzenstecker abgenommen werden.

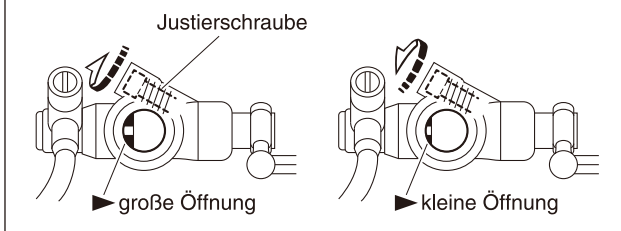
6. Lassen Sie den Motor 2-3 Tankfüllungen einlaufen. Dabei den Motor so einstellen, daß er sehr fett läuft (starke Qualmentwicklung). Danach kann die Düsennadel 1/8 Umdrehungen geschlossen werden, bis der Motor seine maximale Leistung erreicht.

Wichtig: Lassen Sie nach jeder Tankfüllung den Motor

7. Nach der Einlaufphase wird die Leerlaufdrehzahl justiert. Der Leerlauf muß so gewählt werden, daß der Motor noch sicher läuft, das Modell sich aber nicht bewegt.

Drehen im Uhrzeigersinn erhöht die Leerlaufdrehzahl

Drehen gegen den Uhrzeigersinn verringert die Leerlaufdrehzahl



8. Als nächstes erfolgt die Einstellung der Vollgas-Düsennadel. Geben Sie Vollgas und justieren Sie die Düsennadel so, daß der Motor seine maximale Drehzahl erreicht. Anschließend die Düsennadel wieder 10 - 20 öffnen, damit der Motor auf der fetten Seite läuft. Achtung: Ein zu mager eingestellter Motor läuft zu heiß - die Laufgarnitur wird zerstört!
9. Abschließend muß die Leerlauf-Düsennadel eingestellt werden. Lassen Sie den Motor ca. 10 Sekunden im Leerlauf laufen und geben Sie Vollgas - beobachten Sie dabei den Motor! Qualmt der Motor stark und erreicht erst langsam die maximale Drehzahl, ist der Leerlauf zu fett eingestellt. Drehen Sie die Leerlauf Düsennadel in 30 Schritten im Uhrzeigersinn. Geht der Motor beim Gasgeben aus, ohne das Qualm zu sehen ist, muß die Leerlauf Düsennadel in 30 Schritten entgegen dem Uhrzeigersinn gedreht werden, bis der Motor einwandfrei Gas annimmt.

Hinweise:

- Die Einstellungen am Motor variieren je nach Treibstoff, Glühkerze und Witterung.
- Die optimale Einstellung für die Düsennadel liegt zwischen 2,5 Umdrehungen. Achtung: Die Düsennadel nicht zu kräftig schließen, der Vergaser kann dabei beschädigt werden!
- Beurteilen Sie die Motoreinstellungen nur am fahrenden Modell, das Laufverhalten bei aufgebocktem Modell ist nicht aussagekräftig. Es besteht die Gefahr, daß der Motor überdreht wird und/oder überhitzt, da der kühlende Fahrtwind fehlt!

●Die Wartung des Motors

- * Entfernen Sie nach dem Betrieb des Modells den Treibstoff aus dem Tank!
- * Entfernen Sie auch alle Treibstoffreste aus dem Motor. Dazu den Motor im Leerlauf starten. Anschließend den Schlauch am Vergaser abziehen und warten bis der Motor ausgeht.
- * Reinigen Sie die Kühlrippen des Motors mit einer Zahnbürste und Methanol (oder etwas Treibstoff). Lassen Sie vorher den Motor völlig abkühlen!!!



Achtung

Verwenden Sie niemals Benzin oder Verdünnung zum Reinigen des Motors, es besteht Brandgefahr!

Avant toute utilisation, lire attentivement cette notice de montage !

GXR-18 MOTEUR

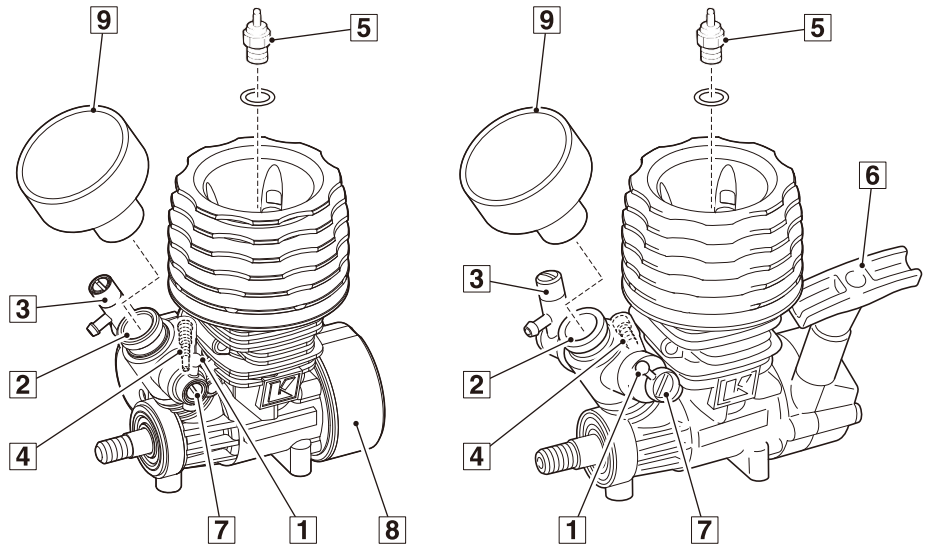


NOTICE EXPLICATIVE

Réf.74017

MOTEUR

- 1** **Commande de carburateur :**
Commande l'ouverture du carburateur.
- 2** **Carburateur :**
Mélange l'air et le carburant pour l'accélération du moteur.
- 3** **Pointeau principal :**
pour ajuster la proportion de carburant dans le carburateur.
- 4** **Vis de ralenti :**
pour régler le ralenti du moteur.
- 5** **Bougie :**
permet l'explosion du mélange.
- 6** **Lanceur à main :**
permet de démarrer le moteur.
- 7** **Vis de reprise :**
pour ajuster le volume d'air et de carburant dans le mélange.
- 8** **Démarrateur électrique :**
permet de démarrer le moteur.
- 9** **Filter à air**



< Avec démarreur électrique >

< Avec lanceur à main >

EQUIPEMENT NECESSAIRE NON INCLUS

1. Carburant spécifique modèle réduit.
Nous vous recommandons l'utilisation de carburant Kyosho Fuel.



Attention

NE JAMAIS UTILISER UN AUTRE CARBURANT QUE DU CARBURANT SPECIAL MODELE REDUIT !

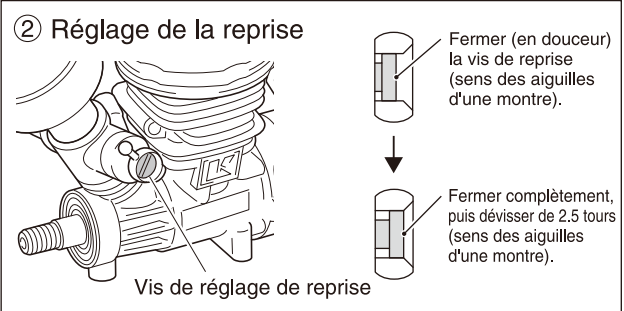
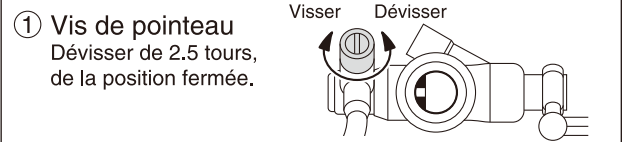
2. Bougie:
(Bougie #74904)
ATTENTION! Le système de démarrage n'est pas compatible avec les bougies O.S. et ENYA.
3. Cordon de démarrage (L'unité #74005 et le connecteur #74003) et batterie pour le chauffe bougie (batterie 7,2V pour le démarreur électrique) : Utilisés pour chauffer et électrifier la bougie.
() Se référer à l'utilisation du démarreur électrique
4. Clé à bougie:
Se procurer une clé à bougie
5. Filtre à essence
Se procurer un filtre à essence
6. Pipette de remplissage rapide.
Très utile pour un remplissage propre et rapide.

• MONTAGE DU MOTEUR

Le moteur est monté d'origine sur votre modèle.
Se référer à la notice de montage pour le re-montage éventuel ou toute intervention.

• DEMARRAGE MOTEUR ET RODAGE

Régler la vis de pointeau et de reprise en se référant aux schémas ci-dessous.



ATTENTION! Prendre conseil auprès d'un pilote confirmé.
Les réglages peuvent varier sensiblement selon la bougie et le type de carburant utilisé.



Attention

Ne JAMAIS toucher à chaud le moteur. Risque de brûlures

• DEMARRAGE MOTEUR ET RODAGE

Effectuer les étapes suivantes :

(Nous vous recommandons de prendre conseil auprès d'un modéliste confirmé ou de votre détaillant afin d'effectuer ces étapes.)

1. S'assurer que la vis de pointeau a été réglée comme indiqué sur le schéma 1.
2. Remplir le réservoir de carburant adapté. Remplir le réservoir de carburant adapté (faire attention de ne pas mettre de poussière). Amorçer le carburant en appuyant sur le bouton du réservoir. Ouvrir le carburateur en grand et mettre 2 à 3 gouttes de carburant à l'intérieur. Remettre le carburateur en position de ralenti.

DEMARRAGE ELECTRIQUE

3. Se munir d'une batterie chargée de 7,2V afin d'utiliser le démarreur électrique (Par temps froid, une batterie à pleine charge est préférable)
4. Assembler l'unité de connection à la batterie.
5. Appliquer le démarreur électrique entre 1 et 5 secondes
Si le moteur ne démarre pas, essayer de nouveau.
Attention ! NE JAMAIS APPLIQUER PLUS DE 5 SECONDES LE DEMARREUR.

DEMARRAGE AU LANCEUR

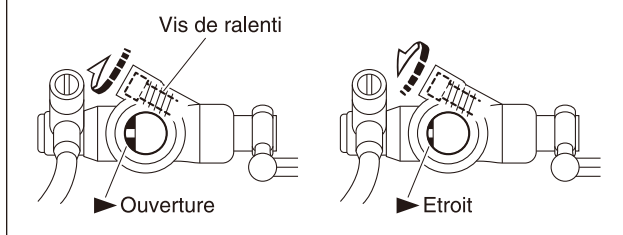
3. Placer le socquet de pré-chauffage sur la bougie du moteur afin de l'électrifier pour le démarrage.
 4. Tirer successivement plusieurs fois le lanceur (5 à 6 fois) sans excéder 20 à 30 cm de corde. **ATTENTION !** Ne pas tirer plus de 50 cm de corde. Au-delà, cela peut bloquer le ressort du lanceur.
 5. Une fois le moteur démarré, attendre 5 à 10 secondes avant de retirer le socquet de pré-chauffage bougie.
6. Rodage moteur : Effectuer 2 à 3 réservoirs en roulant sans fortes accélérations. Attention ! Après chaque réservoir, laisser refroidir le moteur.

7. Le carburateur est pré-réglé en usine. Pendant le rodage du moteur, ajuster le ralenti avec la vis prévue à cet effet. En tournant cette vis sur la droite le ralenti augmente, en tournant sur la gauche il diminue. Le réglage du pointeau principal est une étape délicate. Nous vous recommandons de l'effectuer avec un modéliste confirmé. Après avoir trouvé le réglage optimum du pointeau, le dévisser de 1/8 à 1/4 de tour afin d'éviter une casse moteur dû à un réglage trop pauvre.

Pour le réglage de base du pointeau, le fermer complètement, puis l'ouvrir de 2.5 tours. Attention de ne jamais le fermer complètement.

Serrer la vis de pointeau pour augmenter le régime moteur.

Dévisser la vis de pointeau pour réduire le régime moteur.



POUSSIÈRE ET SABLE

Toute impureté, de toute sorte, aspirée dans le moteur provoquera très rapidement une détérioration du piston et du maneton de vilebrequin qui peut s'user de 0,10 mm au diamètre. Une utilisation pendant 10 secondes, sans filtre à air sur une piste poussiéreuse, peut détériorer irrémédiablement un moteur neuf. Cette mauvaise utilisation risque de provoquer une usure rapide de la bielle qui risque de se gripper et de se rompre. Afin d'éviter tous ces problèmes, il est très important d'apporter un grand soin à l'entretien du filtre à air.

ROUILLE ET OXIDATION

Il est très important de toujours utiliser un carburant de bonne qualité. Un carburant de qualité médiocre, réduiraient les performances des moteurs, mais aussi détérioreraient les pièces internes. Le Méthanol par exemple, s'il a été mal stocké, peut contenir un grand pourcentage d'eau qu'il a absorbé dans l'atmosphère. Le nitrométhane aussi, n'est pas toujours de première qualité. Si vous trouvez de l'oxydation à l'intérieur de votre moteur, nous vous suggérons fortement d'arrêter d'utiliser votre carburant actuel, et de changer pour un mélange de carburant neuf (bidon récent jamais ouvert).

SURCHAUFFE

Ne jamais utiliser un moteur avec un mélange trop pauvre, ou avec un pourcentage trop faible en huile. Si un moteur surchauffe, il peut atteindre une température de 300°C et le maneton de vilebrequin devient bleu. Si cela se produit, nous vous recommandons de changer le vilebrequin, et la bielle qui risque de casser (les caractéristiques mécaniques des alliages d'aluminium changent si la température dépasse 180°C). En général quand le piston a subi une surchauffe, il serre près de l'échappement et devient inutilisable. La surchauffe peut aussi entraîner une défaillance du filament de la bougie. Les débris de filament peuvent endommager le piston et la chambre de combustion.

SUR-REGIME

De nombreuses causes de sur-régime moteur sont dues à une défaillance des couronnes, cloches, ou radio commande, et ne peuvent être imputables au moteur. Le bouchon de carter doit toujours être démonté afin de contrôler le maneton de vilebrequin et le roulement après un sur-régime. S'il y a un jeu excessif, ils doivent être remplacés avant toute ré-utilisation du moteur.

MAINTENANCE

- Après utilisation, vider intégralement le réservoir.
- Pour éliminer le carburant restant dans le moteur, le démarrer une fois le réservoir vide et attendre que le moteur cale. Dans le cas contraire le moteur risque de s'oxyder.
- Nettoyer l'extérieur du moteur à l'aide d'un pinceau imprégné de méthanol. Au cours de cette étape faire attention de ne pas fumer ou approcher une source de chaleur près de votre plan de travail.

Attention

AUCUNE GARANTIE NE POURRA ÊTRE PRISE EN COMPTE SI LE MOTEUR A ETE UTILISE AVEC UN AUTRE CARBURANT QUE DU KYOSHO FUEL !



Attention

NE JAMAIS UTILISER UN AUTRE CARBURANT QUE DU CARBURANT SPECIAL MODELE REDUIT !

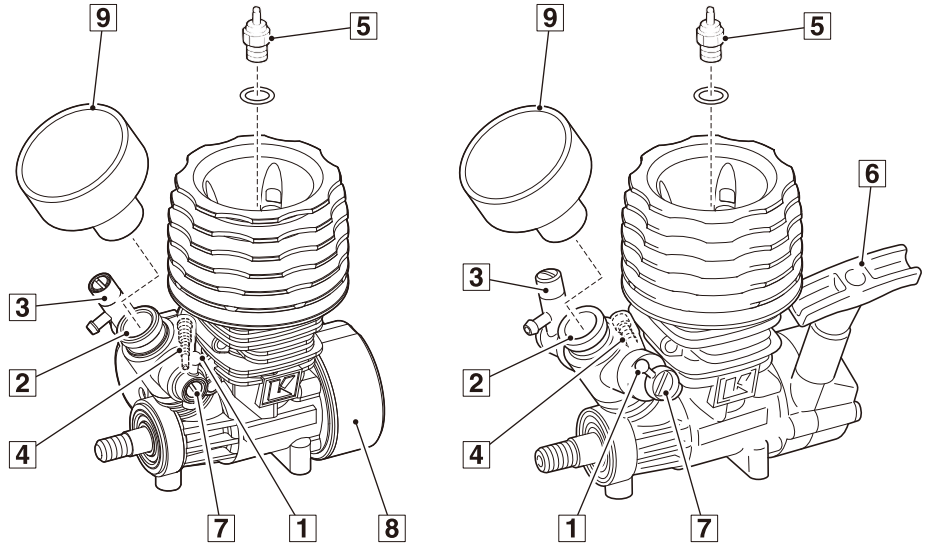
GXR-18 MOTOR



INSTRUCTION MANUAL
No.74017

MOTOR

- 1 Mando del carburador :
Regula la mezcla aire-combustible y las rpm del motor.
- 2 Carburador :
Mezcla el combustible y el aire.
- 3 Aguja :
Regula la cantidad de combustible.
- 4 Tornillo de Ralentí :
Ajusta la abertura del carburador al ralentí.
- 5 Bujía :
Provoca la combustión de la mezcla.
- 6 Arrancador Manual /
Arrancador Electrico :
Arranca el motor.
- 7 Tornillo de baja :
Ajusta el volumen de aire y combustible de la mezcla.
- 8 Touch Starter :
Arranca el motor.
- 9 Filtro de Aire



< Con Touch Starter >

< Con arrancador manual >

EQUIPO NECESARIO PARA ARRANCAR EL MOTOR (NO INCLUIDO):

1. Combustible para modelos R/C:
Pemar Model S.A. recomienda combustible CYCLONE para todos los modelos de KYOSHO.
2. Bujía:
(Bujía KYOSHO No. 74904)
PRECAUCION: BUJIA
No disponible con bujía ENYA.
3. Booster Cord (No.74005 Starter Wiring Unit y No.74003 Conector) y las baterías para el chispa (Pack baterías 7.2V para Touch Starter): Se usan para electrificar la bujía. () aparece cuando se usa el Touch Starter.
4. Llave de Bujías:
Muy útil para desmontar la bujía.
(Llave de Bujías Bloqueo Pistón KYOSHO No. 80164)



AVISO

NUNCA utilice gasolina, queroseno ni alcohol como carburante ya que podría causar un serio accidente.

5. Filtro de Combustible:
(Filtro KYOSHO No. 1876)

Un biberón también es muy útil para los repostajes.
(Biberones 250cc / 500cc de KYOSHO No. 96421B / 96422B)

MONTAJE DEL MOTOR

La posición para montar el motor depende del modelo. Siga las instrucciones incluidas en el modelo para instalarlo correctamente.

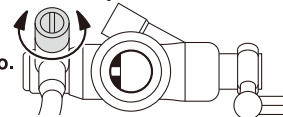
ARRANQUE Y RODAJE DEL MOTOR

Ajuste la aguja y el tornillo de baja tal y como se muestra

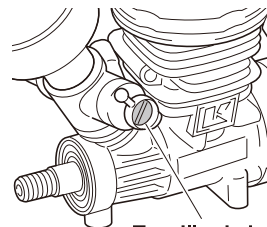
1 Aguja

2 vueltas y media aflojado desde la posición de cerrado.

Apretar Aflojar



2 Ajuste Mezcla Aire/Combustible



Tornillo de baja

Apriete suavemente el tornillo de baja hasta la posición de cerrado.

2 vueltas y media aflojado desde la posición de cerrado.

Los ajustes ① y ② pueden variar según el tipo de bujía y combustible que utilice.



AVISO

Evite tocar el motor mientras el motor esté muy caliente. Solamente toque la aguja para realizar ajustes.

ARRANQUE Y RODAJE DEL MOTOR

Proceda de la siguiente manera para el arranque y rodaje del motor:

1. Asegúrese que al aguja está aflojada 3 vueltas desde la posición de cerrada.
2. Llene el depósito de combustible. Mueva la palanca de gas a la posición de máximo, cebe el motor (pulse el botón de cebado 2-3 veces ó vierta 2-3 gotas de combustible en el carburador) y mueva la palanca de gas a la posición de gas mínimo.
PRECAUCION: Asegúrese que no entra nada de suciedad en el depósito.

Si utiliza el Touch Starter

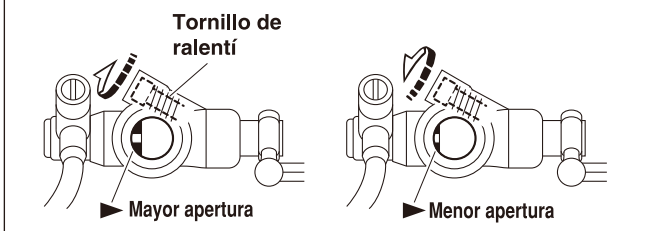
3. Prepare una batería 7.2V cargada.
4. Una el conector en la batería.
5. El arranque del motor con una batería 7.2V debe hacerse en el intervalo de 1-5 segundos. Si no es así desconecte el Touch Starter e inténtelo de nuevo.
Precaución: No utilice el Touch Starter durante más de 5 segundos seguidos.

Si utiliza el Arrancador

3. Coloque la pinza de bujía en el motor para electrificar la bujía.
4. Tire de la cuerda del tirador varias veces. Asegúrese de no sobrepasar 20 - 30cm la longitud del tirador.
Precaución: Tenga especial cuidado de no tirar más de 50cm ya que se rompería el muelle del interior del tirador.
5. Una vez arranque el motor, espere 5 ~ 10 segundos antes de retirar el calentador de bujías.
6. Ruede 2 ~ 3 depósitos de combustible sin aplicar el máximo gas. Después no aplique gas de forma rápida. Apriete la aguja 1/8 de vuelta y siga rodando con suavidad.
Precaución: Después de terminar cada depósito, permita que el motor se enfríe.
7. Durante el rodaje ajuste las rpm con el tornillo de ralentí. Si lo aprieta (derecha), las rpm del ralentí se incrementarán. El ralentí idóneo se encuentra en el intervalo en el que el motor no se pare pero que el embrague no bloquee y se mueva el modelo. Ajuste el ralentí hacia el punto más bajo posible

Apretando el tornillo las rpm se incrementarán.

Aflojando el tornillo, las rpm decrecerán.



8. Ahora ajuste la aguja. Su ajuste óptimo se alcanzará cuando el motor funciona correctamente a pleno gas. Si aprieta más la aguja, las rpm bajarán dañando el motor. Una vez haya alcanzado el ajuste óptimo, afloje la aguja 10 ~ 20° para un funcionamiento normal.
9. Una vez haya realizado el ajuste para un funcionamiento normal, deberá ajustar el tornillo de baja. Detenga el modelo y mueva el mando de gas desde la posición de ralentí hasta la posición máxima. Si los humos emanados por el escape son blancos y las rpm se incrementan de manera lenta significa que hay demasiado combustible. Para empobrecer la mezcla gire el tornillo de baja hacia la derecha 30 ~ 40° cada vez. En el caso contrario si el motor se para, los humos son invisibles la mezcla no es lo suficientemente rica, así que gire el tornillo hacia la izquierda 30 ~ 40° cada vez.

Nota: El ajuste óptimo puede variar según el tipo de bujía y el combustible utilizados.

Nota: Los ajustes también pueden variar debido a cambios climatológicos.

La posición óptima de la aguja se encuentra abriéndola entre 2 vueltas desde la posición de cerrado.
AVISO. No cierre demasiado la aguja ya que podría estropear irremediablemente el motor.

Precaución: Realice todos estos ajustes (desde el paso 8) mientras rueda con su modelo. El motor podría resultar dañado si las ruedas giran libremente sin tocar el suelo.

MANTENIMIENTO

Después de rodar, vacíe siempre todo el combustible del depósito.

También será necesario eliminar el combustible del interior del motor ya que podría dificultar sucesivos arranques.

Limpie el exterior del motor utilizando metanol y un pincel. Nunca utilice el metanol cerca de llamas o fuentes de calor ya que es altamente inflamable y podría ocasionar un incendio.



Aviso

Nunca utilice gasolina ni diluyentes para limpiar.

¡ Podría ocasionar un incendio !

SPARE PARTS

No.	Part Names
74017	GXR-18 Engine
74017-01	Cylinder Head (GXR-18)
74017-02	Head Gasket (GXR-18)
74017-03	Crank Case (GXR-18)
74016-03-1	Front Ball Bearing
74016-03-2	Rear Ball Bearing
74017-04	Piston & Cylinder Set (GXR-18)
74017-05	Piston Pin (GXR-18)
74017-06	Crankshaft (GXR-18)
74016-07	Connecting Rod (GXR-15)
74016-08	Recoil Starter Assembly (GXR-15)
74016-08-1	Recoil Starter Unit (GXR-15)
74016-08-2	Starter Shaft (GXR-15)

No.	Part Names
74016-08-3	Starter Holder (GXR-15)
74016-09	Carburetor Assembly (GXR-15)
74016-09-1	Carburetor Case (GXR-15)
74016-09-2	Needle Set (GXR-15)
74016-09-3	Slide Valve Set (GXR-15)
74016-10	Ball Joint (GXR-15)
74016-11	Screw Set (GXR-15)
74016-12	Throttle Return Spring (GXR-15)
74904	G Glow Plug
92023	Air Cleaner
92023-1	Air Cleaner Sponge (3 pcs)

SPARE PARTS (TOUCH STARTER)

No.	Part Names
74004	Electric Touch Starter Unit
74004-1	Cover Set
74004-2	Motor Base
74004-3	Shaft Set

No.	Part Names
74004-4	Gear Set (with Clutch)
74004-5	Starter Motor
74005	Starter Wiring Unit (with LED)
74003	Connector Unit

Some of the parts included are not available as spare parts.
Purchase optional parts instead.

CAUTION

Only use parts from the above list as replacements for the unit or starter motor.
(*Do not use No.74001B Electric Starter Unit or No.74002 Starter Wiring Unit as these can cause short circuit. This is dangerous.)

Vorsicht

Verwenden Sie ausschließlich die oben genannten Ersatzteile! Verwenden Sie keinesfalls die 74001B Starterereinheit oder 74002 Kabelsatz. Dies kann zu Kurzschlüssen führen.

ATTENTION !

Pour tout remplacement de pièce de l'unité de démarrage moteur, utiliser uniquement celles spécifiées dans la liste.
(*Ne pas utiliser le démarreur électrique #74001B ou l'unité #74002. Leur utilisation peut provoquer un court-circuit et ceci est dangereux.)

PRECAUCION

Utilice solamente las piezas arriba descritas para el motor y arrancador.
(*No utilice el Arrancador Eléctrico No.74001B ni No.74002 ya que podrían causar un cortocircuito.)

*Specifications are subject to change without prior notice!

*Technische Änderungen sind ohne vorherige Ankündigungen möglich!

*Les spécifications peuvent changer sans préavis!

*El fabricante se reserva el derecho de introducir modificaciones en los kits sin previo aviso!